

特定保守管理医療機器

販売名:MS T-7201BX-MR・P術中診断手術台システム

※※

【警告】

1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、又はアクセサリで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
2. 他社製アクセサリ等を取り付けて使用する時は、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

※※

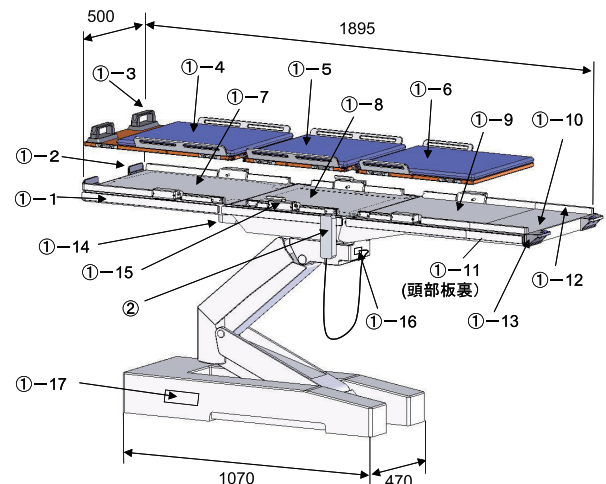
【禁忌・禁止】

1. 手術台の移動及び設置
手術台を移動及び設置するときは、次の事項をしないこと。
[転倒するおそれがあります。]
1-1 凹凸のある床面に設置すること。
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれること。
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除すること。
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]
3. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスに衝撃を与えたり、コード部分を無理に引っ張ったりしないこと。[操作ボックスが破損して操作ができなくなります。]
4. テーブルトップの手動操作部
4-1 頭部板や脚板の上には乗ったり座ったりしないこと。
[転倒又は破損するおそれがあります。]
4-2 患者をベッドから移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]
5. 改造の禁止
手術台を分解又は改造しないこと。[故障の原因となります。]
6. 手術台に患者を乗せるとき
頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[転倒又は脚板が破損するおそれがあります。]
7. 患者移載板の固定
7-1 患者を診断装置へ移動させる時以外は、患者移載板は手術台本体に固定すること。[体位の変換時及び患者の不意な状態変化により患者が転落することがあります。]
7-2 手術台屈曲の際は、移載板から関節固定具を抜くこと。
7-3 頭部と脚部を逆挿入しないこと。
[患者移載板を手術台本体に固定することができません。]

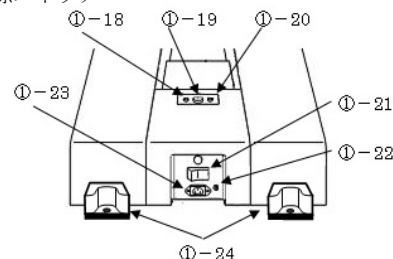
【形状・構造及び原理等】

※※1. 外観図

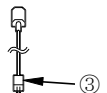
本体



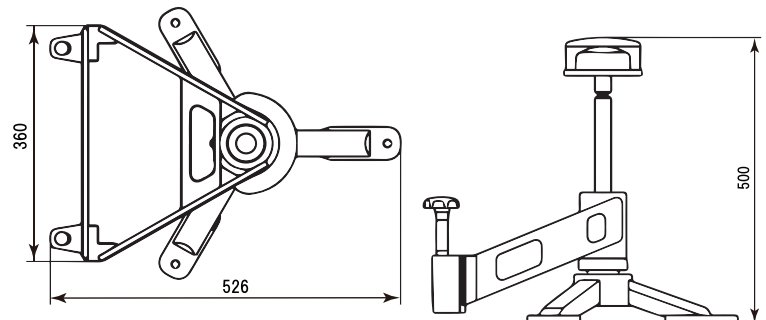
電源スイッチ



電源コード



手術台回転装置【付属品】④



取扱説明書を必ずご参照下さい。

**	①-1	サイドレール	①-16	操作ボックスコネクタ
	①-2	患者移載板ストッパ	①-17	予備スイッチ
	①-3	患者移載板移動ハンドル	①-18	要充電ランプ
	①-4	脚天板（患者移載板）	①-19	充電中ランプ
	①-5	腰天板（患者移載板）	①-20	電源ランプ
	①-6	背天板（患者移載板）	①-21	電源スイッチ
	①-7	脚板	①-22	等電位化端子
	①-8	腰板	①-23	電源用コネクタ
	①-9	背板	①-24	ステー
	①-10	頭部板	②	操作ボックス
	①-11	頭部板固定ハンドル	③	電源コード
	①-12	患者移載板ガイドレール	④	手術台回転装置
	①-13	患者移載板ガイドブリッジ		
	①-14	脚板屈曲レバー		
	①-15	患者移載板固定レバー		

注1：番号は1.外観図の番号に対応

注2：テーブルトップとは①-4～10の総称

商品コード	商品名	構成
08-018-97	MST-7201BX - MR・P 術中診断手術台システム	①② ③④
08-018-66	手術台 MST-7201BX-MRI・NMg-P STDセット	①② ③
08-018-86	手術台回転装置	④

** 2. 質量

手術台本体	: 340kg
手術台回転装置	: 8kg

** 3. 電氣的定格

定格電源電圧	AC100V
定格電源周波数	50-60Hz
電源入力	800VA
バッテリー電源電圧	DC24V
バッテリー連続作動時間：充電満了後、約 60 分（注）	
バッテリー充電時間：最長 24 時間（注）	
注：使用条件により変わります。	

** 4. 機器の分類（JIS T 0601-1:1999）

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器
 電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 形装着部
 水の有害な侵入に対する保護の程度の分類：I P X 4
 本製品は EMC 規格 JIS T 0601-1-2：2002 に適合

** 5. 使用環境

JIS T 0601-1 医用電気機器	
—安全に対する一般的要求事項：環境条件	
周囲温度範囲	: 10℃～40℃
相対湿度範囲	: 30%～75%
気圧範囲	: 700hPa～1060hPa

** 6. 機能

電動

① 昇降範囲	最高位	: 1115 mm
	最低位	: 495 mm
② 縦転角度	頭下がり	: 45°
	頭上がり	: 20°
③ 横転角度	右下がり	: 30°
	左下がり	: 30°
④ 背板屈折角度	上がり	: 45°
	下がり	: 30°
⑤ スライド量	頭方向	: 100mm
	脚方向	: 100mm
	左方向	: 60mm
	右方向	: 60mm

⑥ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／スライド
⑦ その他	手術台固定／ブレーキ解除
⑧ 操作機器	操作ボックス／予備スイッチ

手動

① 脚板屈折角度	上がり	: 30°
	下がり	: 40°
② 取り外し	頭部板	

** 7. 作動原理

* 電動油圧手術台は、オイルタンク・ポンプモーター・バルブ・シリンダー等の油圧機器で構成しています。
 操作ボックスのコントロールによりポンプモーターが作動、オイルタンクの作動油を作動する機能のバルブを介してシリンダーへ送ります。
 シリンダーが作動すると、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動するので手術台が作動します。
 シリンダー内の作動油が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動が停止します。

**【使用目的又は効果】

本品は、手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）であり、コンセント電源式・電池電源式併用のものです。

**【使用方法等】

詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

* 1. 電源の入れかた（使用前）

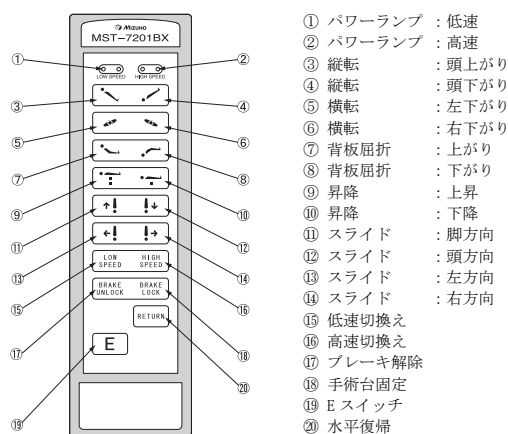
- 1-1 電源コードを手術台本体の電源用コネクタと手術室の医用コンセントに差込みます。
- 1-2 電源スイッチを ON にすると操作ボックスのパワーランプ及び手術台本体の電源ランプが点灯して電源が入ります。
 *（注）消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、電源を入れてください。

* 2. 電源の切り方（使用后）

電源スイッチを OFF にすると操作ボックスのパワーランプ及び手術台本体の電源ランプが消灯して電源が切れます。

** 3. 操作ボックスの使い方（使用中）

操作ボックスは E スイッチを押しながら機能スイッチを押します。スイッチを押す間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。



** 4. バッテリー充電のしかた

- * 4-1 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。
- 4-2 充電中、充電中ランプ（）が点灯します。
- 4-3 充電が完了すると充電中ランプ（）が消灯します。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管環境

周囲温度範囲	：－10℃～50℃
相対湿度範囲	：10%～85%（結露なし）
気圧範囲	：700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10年（※）
 [自己認証（弊社データ）による]
 注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
 但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

3. 定期交換部品

部品名	交換時期
バッテリー	2～3年
操作ボックス	4～6年
キャスター	5～7年
ブレーキゴム	3～5年
電源コード	5～7年

※注：上記は目安の期間です。
 使用条件により交換時期が変わります。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検>

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施してください。

1. 使用前の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損がないか。
- ③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。
- ※④ 電源コード及び電源プラグ
電源コード導線の露出又は電源プラグの破損がないか。
- ⑤ バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。
- ⑥ 電源スイッチ
電源スイッチをONにして、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。
- ⑦ 操作ボックス及び予備スイッチ
操作ボックスのスイッチ及び予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。
- ⑧ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2. 使用後の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損又は汚れがないか。
- ③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

3. 清掃・消毒の手順

- 3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
- 3-2 使用する消毒剤の表示又は説明書の内容を確認してください。
- 3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭してください。

5. 作動制限

設定したポジション	作動制限事項	解除方法
1. 縦転角度最大 (頭上がり20度)	1. 下降禁止：注1	1. 縦転傾下がりまたは水平復帰 (水平位の状態まで戻す)
1. 縦転傾斜 頭下がり20度以上 2. 横転水平状態 3. 昇降高さ (620mm以下)	1. 横転禁止	1. 水平復帰 (水平位の状態まで戻す)
1. 縦転傾斜 頭下がり20度以上 2. 横転傾斜 (左または右が5度以内) 3. 昇降高さ (620mm以下)	1. 縦転禁止 2. 横転禁止：注2 3. 下降禁止	1. 水平復帰 (水平位の状態まで戻す)
1. 昇降高さ最低位	1. 縦転禁止 (頭上がり5度で停止)	1. 昇降 (620mmを超える高さまで上昇)

注1：縦転頭上がりの最大角度は最高位で20度ですが、昇降の高さによって変わります。
 注2：左または右が5度以上傾斜した状態で、傾斜方向と反対側のスイッチを押すと、横転のみ水平復帰します。同一方向のスイッチでは作動しません。

6. 回転装置

（術前）

- ① 回転装置がアンカーに確実に固定されている事を確認します。
- ② 手術台ステーと、回転装置側のステー受けを連結し、手術台を所定位置で固定します。

（術中）

- ① 患者移動板固定レバーがLockになっていることを確認します。
- ② 手術台ブレーキを解除し、画像診断装置へ回転移動します。
- ③ 手術台ブレーキで固定し、患者移動板固定レバーをFreeにし、患者を画像診断装置へ移動します。
- ④ 画像診断終了後、①～③の逆手順を行います。

【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

1. 警告

- ※① 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では器機が動いたり、外れたりして患者に障害が起きるおそれがあります。
- ※② 併用する機器やアクセサリを使用するときは、当該機器の添付文書又は取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリに悪影響を及ぼします。

2. 注意

- ※① 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。
- ※② 手術台の操作中や屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。怪我をするおそれがあります。
- ※③ 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週1回充電（週末の充電）を行ってください。

充電満了まで最長で24時間程度掛かります。

- ※④ 手術台使用後に手術台下部の要充電ランプ（）が点灯している場合は、直ちに充電を行ってください。

充電不足になるとAC電源でご使用は頂けますが、バッテリーでの使用はできなくなります。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

****4. 故障時のお願い**

本装置が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

4-2 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

****<業者による保守点検事項>**

本装置を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年1回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。

定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：ミズホ株式会社

TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社 千葉工場

****【保証期間に係る事項】**

本品は納品/設置してから1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。